

市長と意見交換会～男女共同参画の視点からのまちづくり～

男女が輝くまちづくりに

6月30日、防災観光交流センターで、「男女共同参画の視点からのまちづくり」と題して、市長との意見交換会が行われました。

主催者のおおふなと男女共同参画「うみねこの会」の会員によるパワハラについての寸劇と、戸田市長によるまちづくりに関する講話が行われました。参加した市民は、男女がともに活躍するまちづくりに向け、活発に意見を交換しました。



三陸ぐるっと食堂×B-1グランプリ

ご当地のグルメが大集合

7月7、8日、キャッセン大船渡エリア特設会場で、「三陸ぐるっと食堂 in OFUNATO×B-1グランプリ」が開かれました。

イベントには、本市からさかなグルメのまち大船渡実行委員会がさんま水餃子と揚げ餃子を出品。県内の地域おこし団体やご当地グルメの祭典「B-1グランプリ」に出展する団体など24団体が参加しイベントを盛り上げました。来場者は、各出品団体の自慢のグルメに舌鼓を打っていました。



(7) 広報大船渡 30.8.6(No.1132)

バルーンアートでぼうしを作ろう

バルーンアートで笑顔に



6月30日、おはなしサロンと防災観光交流センターで「バルーンアートでぼうしを作ろう」が行われました。このイベントは、特定非営利活動法人おはなしころりと被災地支援を行う愛知県大府市の特定非営利活動法人わかち・つむぎあいが開催。参加者は、パフォーマーのクラウンチョコさんたちと、人気キャラクターのぼうしなどを風船で作り、楽しい時間を過ごしました。

吉浜中学校プログラミング教育導入

未来を担う人材の育成を



国では、子どもたちの論理的思考力や問題解決力、創造力などの育成を図ることを目的に、2020年の小学校に始まり、中学校(2021年)、高等学校(2022年)と、順次、プログラミング教育を必修化する計画です。これに先がけ、7月10日、県内初の試みとして、国内大手電気通信事業者や地元企業などの支援により、吉浜中学校に人型ロボット「Pepper(ペッパー)」が導入されました。

今後、市では、この貴重な機会をプログラミング教育の研究に生かしていきたいと考えています。

トピックス 1

三陸・大船渡東京タワーさんまつり実行委員会総会

7月2日、市役所で、三陸・大船渡東京タワーさんまつり実行委員会総会を開催しました。

戸田市長はあいさつで「本年は10回目の節目の開催であり、まつりの集大成として、今まで以上に多くの皆様にご来場いただき、大船渡を全国に向けて大いにPRしたい」と述べました。

実行委員会では、開業60周年を迎える東京タワーを会場とし、恒例の炭火焼さんまの無料配布やさんますり身汁販売、浦浜念仏剣舞・綾里大権現の公演など盛りだくさんの催し物を企画。大船渡のさらなる知名度アップと水産物の販路拡大を図っていきます。



①まつりではさんま焼き師が腕を振るいます(本年の第4回認定試験の様子) ②昨年は約12,000人の来場者でにぎわいました



トピックス 2

地域おこし協力隊隊員委嘱状交付式

7月3日、市役所で、地域おこし協力隊隊員委嘱状交付式を行い、新隊員の菅原香織さんに委嘱状を交付しました。

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化が進む本市において、市外の人材を積極的に活用し、地域の課題解決・活性化を図るために委嘱するものです。

現在、市では、ICT(情報通信技術)分野3人と、水産分野1人の隊員が活動中。今回の委嘱で5人目となりました。今後、菅原さんは、三陸支所を拠点に、地域資源を利活用した新たな産業の創出などに向けて活動します。



①5人目の隊員として委嘱された菅原香織さん ②地元事業者と交流し、地域資源に理解を深める菅原さん

トピックス 3

ILCセミナー

7月12日、リアスホールで、ILC(国際リニアコライダー)セミナーを開催しました。

同セミナーは、ILCの意義や可能性などについて学び、誘致実現への機運を高めることを目的としており、市内外から市民をはじめ、多くの関係者が参加しました。

2人の講師をお迎えし、岩手県立大学の鈴木厚人学長が「ILC計画の概要と最近の動向について」、岩手県の大平尚企画理事が「ILCとまちづくり・産業振興について」講演。参加者は、ILCがもたらす大きな可能性に関心を示していました。



①約550人の参加者が、その仕組みや波及効果について理解を深めました ②ILCの重要性を説く岩手県立大学鈴木厚人学長

(6)